令和元年全国及び岡山県学力・学習状況調査結果　結果と今後の取組について

津山市教育委員会学校教育課

調査結果の分析

全国学力・学習状況調査 平均正答率 【対象：小学6年生・中学3年生】単位%

小学校	国語 R1	算数 R1	中学校	国語 R1	数学 R1	英語 R1
全国	63.8	66.6	全国	72.8	59.8	56.0
岡山県	64.0	65.0	岡山県	73.0	60.0	54.0
津山市	62.0	62.0	津山市	69.0	57.0	51.0
対全国比	▲ 1.8	▲ 4.6	対全国比	▲ 3.8	▲ 2.8	▲ 5.0
標準スコア	49.4	48.0	標準スコア	48.3	48.8	47.4

【標準スコアとは】
全国平均の値を50とした時の相対的な位置をあらわしたもの

岡山県学力・学習状況調査 平均正答率 【対象：小学校3・4・5年生　中学校1・2年生】単位%

教科	R1 小学校(3年) 国語 全体	基礎	活用	算数 全体	基礎	活用	R1 小学校(4年) 国語 全体	基礎	活用	算数 全体	基礎	活用	R1 小学校(5年) 国語 全体	基礎	活用	算数 全体	基礎	活用
全国平均	70.7	75.7	65.5	74.5	79.5	50.5	68.1	71.3	59.7	74.6	80.2	54.7	70.8	76.6	61.2	67.3	71.8	49.2
岡山県	75.3	77.4	67.1	73.1	78.1	48.7	67.7	70.9	53.6	72.5	78.4	52.2	72.1	74.8	59.7	65.5	69.9	47.5
津山市	74.2	76.4	65.5	72.5	77.7	47.4	65.9	69.1	51.8	69.7	76.0	47.6	69.4	72.1	57.2	62.4	67.0	44.1
津山市の標準スコア	50.3			48.8			48.9			47.2			47.5			47.6		
全国との比較	△ 0.5	△ 0.7	0	▲ 2.0	▲ 1.8	▲ 3.1	▲ 2.2	▲ 2.2	▲ 1.9	▲ 4.9	▲ 4.2	▲ 7.1	▲ 4.4	▲ 4.5	▲ 4.0	▲ 4.9	▲ 4.8	▲ 5.1

教科	R1 中学校(1年生) 国語 全体	基礎	活用	数学 全体	基礎	活用	R1 中学校(2年生) 国語 全体	基礎	活用	数学 全体	基礎	活用	英語 全体	基礎	活用
全国平均	70.4	73.1	61.5	71.9	74.1	64.2	66.4	67.2	63.8	53.7	58.6	34.2	61.5	67.2	47.4
岡山県平均	70.9	73.5	62.1	71.6	74.2	62.8	68.4	69.3	65.0	56.3	61.6	35.0	58.4	64.3	43.5
津山市全体	66.4	68.8	58.7	67.3	69.8	58.6	63.4	64.4	59.9	50.1	55.7	27.4	51.5	58.0	35.3
津山市の標準スコア	47.8			47.7			48.4			48.4			45.6		
全国との比較	▲ 4.0	▲ 4.3	▲ 2.8	▲ 4.6	▲ 4.3	▲ 5.6	▲ 3.0	▲ 2.8	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 6.8	▲ 10.0	▲ 9.2	▲ 12.1

【標準スコアとは】
全国平均の値を50とした時の相対的な位置をあらわしたもの

＜学力状況調査＞

【小学校】
・小学校では、低学年からのつまずき解消に早期から取り組んだ結果、小学校3年生の国語では、標準スコア50を越えた。しかし、基礎基本の徹底がまだ不十分である。また、全体的に「書くこと」(指定された長さで、2段落構成で文章を書く)の領域においてはどの学年でも同様の課題が見られ、全国との差は大きい。
・算数においては、基礎的な計算、特に小数の加法・減法・乗法・除法の計算が改善傾向にあったが、今回また課題として見られた。
・学年が上がるごとに、課題の克服は見られるが、全国平均は越えていない。
・目的や意図に応じて自分の考えを明確に書いたり、複数の資料を読み取って判断したりする問題には依然として課題が大きい。

【中学校】
・同一集団(経年比較)における国語、数学の標準スコアを比較すると改善のきざしが見え始めている。しかし、確かな学力をつけるため、既習内容が確認できる授業改善や、個に応じた補充学習のさらなる充実、及び家庭学習の時間の確保にカを入れる必要がある。
・英語においては、全領域(聞くこと、読むこと、書くこと)で課題がある。特に、「書くこと」に最も大きな課題が見られる。具体的には、与えられた英語を適切な形に変えたり不足している語を補ったりして会話が成り立つようにする設問と、空欄に入る適切な接続詞(but)を選択する設問である。今後、授業の進め方を含めて、早急な対策が必要である。

「全国学力・学習状況調査(小6・中3)」「岡山県学力・学習状況調査(小5・中1・2)」の児童生徒・学校質問紙において特徴が見られた項目

全国学力・学習状況調査(児童生徒質問紙)

★学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらい勉強をしますか。(1日当たり1時間以上ある)

	小学校 H27	H28	H29	H30	R1	中学校 H27	H28	H29	H30	R1
全国	62.7	62.5	64.4	66.2	66.1	69.0	67.9	69.6	70.6	69.8
岡山県	66.1	68.6	71.0	72.7	72.1	59.0	57.2	59.2	60.4	64.6
津山市	62.4	67.2	67.0	65.5	70.0	61.9	58.4	53.1	58.1	66.5
全国比	▲ 0.3	4.7	2.6	▲ 0.7	3.9	▲ 7.1	▲ 9.5	▲ 16.5	▲ 12.5	▲ 3.3
県比	▲ 3.7	▲ 1.4	▲ 4.0	▲ 7.2	▲ 2.1	2.9	1.2	▲ 6.1	▲ 2.5	1.9

★学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらい勉強をしますか。(塾通で全くしない)

	小学校 H27	H28	H29	H30	R1	中学校 H27	H28	H29	H30	R1
全国	3.0	3.0	2.9	2.5	2.3	5.3	5.5	4.9	4.9	4.4
岡山県	1.8	2.1	1.5	1.5	1.3	7.1	7.5	6.5	6.8	5.1
津山市	2.3	1.9	1.2	2.0	1.2	6.1	8.0	7.7	9.7	5.8
全国比	0.7	1.1	1.7	0.5	1.1	▲ 0.8	▲ 2.5	▲ 2.8	▲ 4.8	▲ 1.4
県比	▲ 0.5	0.2	0.3	▲ 0.5	0.1	1.0	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 2.9	▲ 0.7

★学校の授業時間以外、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(全くしない)

	小学校 H27	H28	H29	H30	R1	中学校 H27	H28	H29	H30	R1
全国	19.9	20.6	20.5	18.7	18.7	35.0	37.2	35.6	32.9	34.8
岡山県	18.1	19.0	19.2	18.6	17.4	33.2	35.8	34.4	32.5	32.2
津山市	19.9	23.3	18.6	23.3	20.0	31.8	40.9	38.7	41.4	39.9
全国比	0.0	▲ 2.7	1.9	▲ 4.6	▲ 1.3	3.2	▲ 3.7	▲ 3.1	▲ 8.5	▲ 5.1
県比	▲ 1.8	▲ 4.3	0.6	▲ 4.7	▲ 2.6	1.4	▲ 5.1	▲ 4.3	▲ 8.9	▲ 7.7

★今、住んでいる地域の行事に参加していますか。(あてはまる)

	小学校 H27	H28	H29	H30	R1	中学校 H27	H28	H29	H30	R1
全国	36.9	39.1	35.0	35.9	37.2	17.5	19.1	16.9	18.6	21.0
岡山県	38.9	42.9	38.5	39.6	41.1	19.5	20.7	18.5	20.2	22.1
津山市	49.4	54.5	47.5	49.8	51.8	21.6	24.6	20.6	21.4	25.4
全国比	12.5	15.4	12.5	13.9	14.6	4.1	5.5	3.7	2.8	4.4
県比	10.5	11.6	9.0	10.2	10.7	2.1	3.9	2.1	1.2	3.3

★普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(全くしない)

	小学校 H27	H28	H29	H30	R1	中学校 H27	H28	H29	H30	R1
全国	17.4	18.4	19.3	23.0	20.8	38.1	43.5	45.3	51.1	49.5
岡山県	14.4	16.8	17.4	20.4	19.7	39.5	40.8	44.7	58.3	55.4
津山市	22.2	7.4	25.9	11.1	11.1	37.5	37.5	25.0	37.5	50.0
全国比	4.8	▲ 11.0	6.6	▲ 11.9	▲ 9.7	0.6	▲ 6.0	▲ 20.3	▲ 13.6	0.5
県比	7.8	▲ 9.4	8.5	▲ 9.3	▲ 8.6	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 19.7	▲ 20.8	▲ 5.4

岡山県学力・学習状況調査(児童生徒質問紙)

★国語の授業は、分かっている。

学年	小5 H29	H30	R1	中1 H29	H30	R1	中2 H29	H30	R1
岡山県	88.4	85.9	86.6	88.8	83.5	88.7	83.5	84.6	86.0
津山市	90.2	87.0	86.7	89.7	85.8	87.7	84.0	86.6	83.6
対県比	1.8	1.1	0.1	0.9	2.3	▲ 1.0	0.5	2.0	▲ 2.4

★算数・数学の授業は、分かっている。

学年	小5 H29	H30	R1	中1 H29	H30	R1	中2 H29	H30	R1
岡山県	87.7	86.0	86.2	84.6	84.3	85.8	74.2	76.4	77.1
津山市	85.8	82.9	83.7	83.8	86.1	86.5	73.3	82.2	76.4
対県比	▲ 1.9	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 0.8	1.8	0.7	▲ 0.9	5.8	▲ 0.7

★英語の授業は、分かっている。

学年	中2 H29	H30	R1
岡山県	70.9	71.6	75.0
津山市	67.2	67.6	74.7
対県比	▲ 3.7	▲ 4.0	▲ 0.3

★学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらい勉強をしますか。(1日当たり1時間以上ある)

学年	小5 H29	H30	R1	中1 H29	H30	R1	中2 H29	H30	R1
岡山県	75.6	74.2	75.0	82.0	83.0	64.7	71.0	74.4	
津山市	66.2	71.7	69.2	68.5	75.1	75.5	62.1	66.7	68.9
対県比	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 5.8	▲ 6.5	▲ 6.9	▲ 7.5	▲ 2.6	▲ 4.3	▲ 5.5

★自分にはよいところがあると思う。(肯定的な回答)

学年	小5 H29	H30	R1	中1 H29	H30	R1	中2 H29	H30	R1
岡山県	70.4	80.8	82.3	68.5	79.3	80.7	64.0	72.6	75.6
津山市	63.9	74.4	79.4	63.8	72.5	77.5	54.9	68.0	71.6
対県比	▲ 6.5	▲ 6.4	▲ 2.9	▲ 4.7	▲ 6.8	▲ 3.2	▲ 9.1	▲ 4.6	▲ 4.0

★普段(月～金曜日)、1日あたりテレビゲーム(コンピューター・携帯式・スマートフォンを含む)の時間。(1日2時間以上ある)

学年	小5 H29	H30	R1	中1 H29	H30	R1	中2 H29	H30	R1
岡山県	37.0	31.0	33.3	40.8	37.4	40.8	46.6	42.6	44.1
津山市	39.5	38.7	42.0	45.0	44.7	43.1	52.7	50.9	52.9
対県比	▲ 2.5	▲ 7.7	▲ 8.7	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 2.3	▲ 6.1	▲ 8.3	▲ 8.8

全国及び岡山県学力・学習状況調査の概要

＜学習状況調査＞

【全国学習状況調査結果の概要(小学校6年生・中学校3年生)】
・小中学校ともに家庭学習の時間(1時間以上取り組む)については、改善が見られる。また、「全くしない」と回答している児童生徒の割合も昨年度と比較しても改善傾向にある。しかし、中学校においては依然課題である。
・学年の始めに家庭学習の手引等を活用し、教職員で共通理解を図ったり、家庭学習の仕方について具体例を挙げたりしながら児童生徒に指導を行っている学校の割合がかなり伸びている。
・小中学校ともに「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導」についての質問に対して、「行っている」と回答した割合はとても低く、小学校段階からキャリア教育へカを入れて取組む必要がある。

【岡山県学習状況調査結果の概要(小学校5年生・中学校1年生、2年生)】
・授業改善が進んでおり、国語、算数(数学)、英語の授業が分かっていると肯定的に回答した児童生徒の割合が県と同等である。
・「自分には、よいところがあると思う」と肯定的な回答をしている児童生徒の割合が増えており、県との差は縮まっている。
・家庭学習の時間は県と比較してさらに差が開く結果となった。「家庭で全くしない」と回答している児童生徒も多い。中学生になっても、学習時間の少なさが依然として顕著に表れている。
・学習規律の徹底に取り組んでいるが、小中学校ともに「授業中、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習している」と肯定的に回答した児童生徒の割合については、県との差が開いてきている。
・平日、スマホを使って通話をしたりメールを1日に2時間以上使用している割合は、学年が上がるにつれ、増加しており、危機的状況である。

成果と課題

【共　通】
○授業改革推進チームを中心に市内小学校で授業改善を行い、「授業ファイブに基づいた授業づくり」（岡山型学習指導のスタンダード）が教員に定着してきている。
○朝学習や放課後学習、補充学習等の時間の確保や継続的な取組により、基礎的・基本的な内容、活用問題への取組により確実に定着が進んでおり、今後も継続して進める。
●授業と家庭学習とを繋ぐ、「学びのサイクル」の取組に不十分な所もあり、作業にならない家庭学習や「取り組んで良かった」という達成感が得られる取組にする必要がある。
●テレビゲームやスマートフォンについて、長時間使用の割合が増えていることが、学習に向かう時間が少なくなる要因の一つである。

【小学校】
○低学年から基礎基本だけではなく、授業の中で適応問題や週末課題（活用力）を意識して取り組んだ結果が表れてきている。
○学年が進んでも、平均正答率を見ると全国との差は開いていないことから、授業改善や校内研究、補充学習の取組が定着しつつある。
●算数においては、学年が上がっても改善が見られない領域（「数量関係」「量と測定」）もある。また、下位層への的を当てた取組を徹底して行う必要がある。
●授業や家庭学習で基礎基本の徹底や確認が不十分であった。

【中学校】
○中学校学力向上プロジェクト会議を設置し、基礎的・基本的な学力の定着及び家庭学習の充実を図った。平成２９年度より数学基礎問題「ＴチャレプリントＪを作成・活用し、定着度・達成率の確認を行った。同じ期間に同じ内容を統一して行うことで、中学校職員全体で学力向上に取組むという機運が高まった。
○学力向上担当者に加え、生徒指導担当者をプロジェクト会議に位置づける中で、落ち着いた学習環境をベースとした授業改善を進めた。
●授業改善が不十分である。特に、授業内における理解確認の徹底が必要である。

課題に対応した改善方法・重点的に取組むこと

【市教委】
★年間複数回の学校訪問を行い、授業改善や「学びのサイクル」など、「学校マネジメント力」を学校と市教委が思いを共有し、支援の手立てを考えていく。
★各校の補充学習（学び直しの場面）を視察・実態把握し、今後の対策の参考にするとともに、好事例を市内に発信する。
★課題の大きな低学年からの取組として、授業の中に「既習事項の確認」を位置づけ、授業改善を同時に図る。（例えば「１００マス計算」を授業の始めに位置づけ授業のリズムを意識する等）
★英語の授業改善を進めるためには、授業改革推進リーダー（英語科）が各中学校に訪問する機会を増やし、直接関わっていく。
★定期的（１１月・２月）に家庭での学習時間及びテレビの視聴時間について、実態把握と改善を進めるために実態調査を行い、校園長会議や担当者会などで情報を発信し対策を練る。また、家庭学習の取組好事例を発信する。

【各学校】
○学習ノートや自主学習ノートの好事例を校内で見える化し、家庭学習の充実につなげる。
○宿題ボード等を用いた宿題の見える化を進め、一人ひとりの児童生徒への声かけや指導等に活かす。
○「児童生徒アンケート」「学校アンケート」を活用した評価を行い、学期ごと、年度ごとのＰＤＣＡサイクルを確立する。
○「学力定着状況確認テスト」問題の結果を活用し、誤答分析を行い、授業改善に活かす。
○作業にならない家庭学習の工夫を行い、毎日、課題に向き合える家庭学習の出し方や評価について研究し改善策を立てる。
○各校の生徒会やＰＴＡ等とも連携し、PTA総会や学級懇談、個人懇談等、必ず家庭学習やスマホ、ゲームの使用について話題にし、地域・家庭を巻き込んだ取組とする。
○学校や家庭でメディアコントロールについての話題を基に、「家庭でルールを決める」「家族で触れ合える豊かな時間を確保する」「睡眠時間を確保する」等、生活リズムを整える取組をするとともに、学校だよりや学年通信などでメディアコントロールについて発信する。

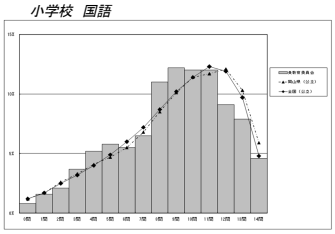
小中連携の取組

小中連携で重点的に取組む内容
①学力向上　　②生徒指導の充実　　③中１ギャップの解消
○岡山県・全国学力学習状況調査の分析を基にした授業改善の取組と中学校ブロックで、児童の実態や課題の共通理解、指導方法の確認をし交流を図る。
○くらしのきまりや生活規律の徹底を図る。（各ブロックごとに共通）
○新入生「春休みの課題」の効果的な利用。
○授業参観や出前授業による決め細やかな実態把握と情報交換。

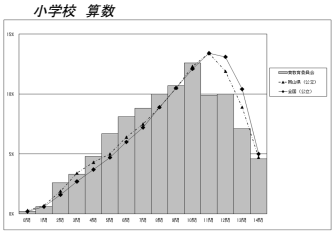
保護者・地域へ理解・協力を求めること

○家庭学習のスタンダードを基に、家庭学習を可視化し学級懇談や個人懇談で協力を得る。
○自主学習への取組を通して、予習と復習の意識付けを行う。
○「児童生徒の家庭生活実態調査」や「チャレンジハッピーデー」の取組を通して生活習慣を見直し、学習習慣の定着につながるよう家庭の協力を得るようにする。
○学校での取組や児童・生徒の姿を掲示したり通信などで発信したりして情報を伝える。
○地域ボランティアの方に協力してもらい、体験活動に取組を積極的に行う。

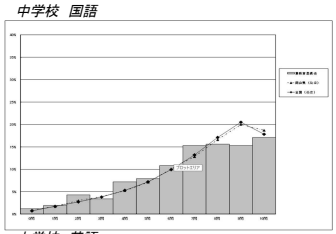
小学校　国語



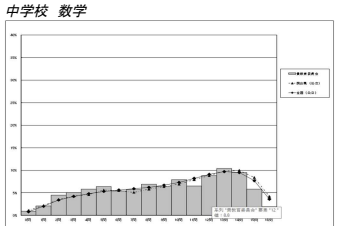
小学校　算数



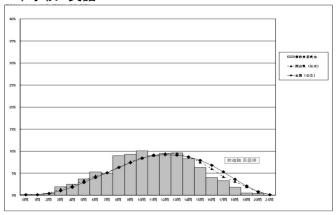
中学校　国語



中学校　数学



中学校　英語



中学校　数学B